

一般質問・質疑

三月六・七・八日の本会議では、まず、七名の議員が会派を代表して質問を行った後、十八名の議員が一般質問に立ち、明石駅前南地区再開発事業や中学校給食の導入などについて市の見解を求めました。

なお、一般質問の発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は四画面から七面に掲載しています。(代表質問の発言者と質問項目、その内容は二・三面に掲載)

発言者一覧

—発言順— () は会派名

- 永井俊作** (市民クラブ)
 ①中学校給食の導入と食育並びに市民自治 ②明石駅前南地区再開発事業の抜本的な見直し ③協働のまちづくりと地域力・市民力のアップ ④保育所の待機児童対策
- 木下康子** (次世代明石)
 ①コミュニティづくりの推進 ②議案第20号 明石市監査委員条例の一部を改正する条例 ③明石地域振興開発(株)
- 宮坂祐太** (民主連合)
 ①市職員のさらなる意識改革・政策立案能力向上のための取り組み ②新学習指導要領を踏まえた本市外国語教育の取り組み状況と今後の方向性 ③市内周遊チケットを用いた観光客誘致
- 辻本達也** (日本共産党)
 ①総合浸水対策における雨水管整備の推進 ②明石地域振興開発株式会社に対する支援 ③明石駅前南地区市街地再開発事業 ④明石商業高等学校の部活動の安全対策
- 坂口光男** (政和会)
 ①市長の市政運営手法 ②防災 ③行政改革実施計画
- 国出拓志** (公明党)
 ①防災対策 ②仮称・若者トータルプラン ③孤独死撲滅に向けた取り組みができないか ④議案第35号 平成24年度明石市一般会計予算におけるTMO支援事業
- 深山昌明** (真誠会)
 ①協働のまちづくりの仕組み構築にかかるモデル事業の実施 ②谷池整備工事 ③市所有地の利用 ④市バス事業廃止後の対応
- 千住啓介** (日本創新党明石)
 ①安心・安全で爽やかな公園管理 ②(仮称)あかし教育会議の設置 ③幼児教育の重要性 ④こども未来部創設
- 北川貴則** (市民クラブ)
 ①その後の市民病院 ②介護保険料 ③環境部職員の手当不正受給疑惑 ④市東部地区のにぎわいづくり ⑤中学校のクラブ活動支援
- 新田正彦** (次世代明石)
 ①泉市長の教育観、教育行政への関与 ②学校管理下の事故状況と武道必修化対策 ③教育諸課題への取り組み
- 大西洋紀** (政和会)
 ①中学校給食導入の手法
- 松井久美子** (公明党)
 ①子ども手当の創設にあわせて所得税及び住民税の年少扶養控除の廃止の現状と平成24年度以降の子どものための手当等 ②小、中学校の新学習指導要領の全面改訂の取り組みと平成27年度からの兵庫県高等学校の学区編成に伴う明石市の対応 ③今年度新設される発達支援課の取り組み
- 三好宏** (真誠会)
 ①明石市公設地方卸売市場の今後 ②まちなぎわいづくり事業 ③明石FMラジオ局 ④明石商業高校の新たなグラウンド整備事業の廃止
- 樽谷彰人** (政和会)
 ①議案第1号 明石市スポーツ振興基金条例制定 ②議案第35号 平成24年度明石市一般会計予算における広報誌発行事業 ③中心市街地活性化 ④2月29日の新聞報道
- 尾倉あき子** (公明党)
 ①総合安全対策局設置における防災・減災対策 ②胆道閉鎖症早期発見のための母子健康手帳における便色カラーカードの導入 ③デイズ教科書の活用
- 穂原成人** (真誠会)
 ①市街化区域内の農地 ②本市の小中学校の教育 ③市役所職員の専門性の向上
- 梅田宏希** (公明党)
 ①中学校給食 ②職員不祥事と監査委員等増員 ③明石市立明石商業高校の安全対策 ④二元代表制の認識
- 寺井吉広** (真誠会)
 ①平成24年度一般会計予算案 ②明石市職員の配置換え ③文化遺産を活かした地域活性化 ④行政視察受入れ

大丈夫なのかアスピア明石

補助金を大幅に削減

経営改革プランを依頼

問 新年度予算において、アスピア明石を運営する明石地域振興開発株式会社に対する補助金を見直し、前年度に比べ約四千二百万円減額しているが、削減額の根拠は何か。また、今後、市としてアスピア明石をどうしていくのか。

答 本市の厳しい財政状況の中、明石地域振興



補助金に頼らない経営を(アスピア明石)

開発株式会社は毎年一億円以上の補助金を交付することは、市民からも厳しい意見があり、今までのような支出はできないと考える。また、同社の経営状況は、平成二十一年度決算が三千万円の黒字、二十二年度が五千七百万円の黒字で、その平均額が四千三百五十万円となることから総合的に判断し、補助金を前年より約四千二百万円減額したところだ。この補助金額は単年度限りとし、同社に対し今夏までに具体的な経営改革プランを提示するよう依頼しており、今後はその結果を見定めることとなる。

本市は株主でもあることから、同社には経営改善を行ってもらい、まちのにぎわいづくりに貢献してもらいたいと考えている。

本年10月開始

幼稚園3カ所に 保育所分園を開設

問 平成二十四年度に三カ所の保育所分園が開設されるが、年度途中の十月からであり、年度当初の四月から待機児童を出さないための対策を早急に求める。

答 待機児童については、これまでも保育所の新設や分園の開設、既存保育所における入所定

在での待機児童は約六十人であるが、まだ受け入れ可能な保育所もあり、退所や辞退も見込まれることから、四月には減少すると予測している。

待機児童対策としては、二十四年度中に市立幼稚園三カ所で保育



0～2歳児の受け入れを拡大

所の分園を開設し、待機児童対策として、二十四年中に市立幼稚園三カ所で保育

問 職員の特殊勤務手当をはじめ、扶養、住居手当の不正受給が発覚した。このため監査委員を四人から六人にする条例が提案されたが、増員することによって不祥事は防げるのか。

答 環境部職員の特殊勤務

必要性に疑問
不正防止対策
監査委員を増員

務手当の問題は、内部公益通報により発覚したもので、内部監査員も手当の支給方法に問題があったと指摘している。また、扶養、住居、通勤手当の不正受給については、職員本人が長年にわたり変更の手続きを行わなかったことが原因であることから、実際の状況を毎年確認するシステムがあれば、このたびの不祥事は防止できた

のと考える。これらのことから、市の内部においては問題なしとして見過ごされてきたことについても、不正が発生する要因があったと認めざるを得ない。このため内部のチェック体制も整備するが、権限を持つ第三者機関として監査委員の増員を図ることで、今まで目の届きにくかった点についてもチェックできると考えている。

環境部職員の特殊勤務手当の問題は、内部公益通報により発覚したもので、内部監査員も手当の支給方法に問題があったと指摘している。また、扶養、住居、通勤手当の不正受給については、職員本人が長年にわたり変更の手続きを行わなかったことが原因であることから、実際の状況を毎年確認するシステムがあれば、このたびの不祥事は防止できた

のと考える。これらのことから、市の内部においては問題なしとして見過ごされてきたことについても、不正が発生する要因があったと認めざるを得ない。このため内部のチェック体制も整備するが、権限を持つ第三者機関として監査委員の増員を図ることで、今まで目の届きにくかった点についてもチェックできると考えている。

問 赤根川河口には平清盛が修復した港「魚住泊」があったと伝えられている。遺跡の発見は地域の活性化につながるのか。

答 魚住泊は奈良時代に撰津・播磨の五港の一

だと考えるが、発掘調査の予定はあるのか。

答 魚住泊は奈良時代に撰津・播磨の五港の一

平清盛ゆかりの港「魚住泊」 赤根川河口を発掘調査

つで、赤根川河口の江井島港辺りにあり、交通の難所である明石海峡を通る際に潮の流れを待つ港として重要であったと推定される。昭和六十一年の赤根川河口の改修工事の際、港の基礎に使われたと考えられる直径一尺、長さ六尺の丸太材が十五本引き上げられた。港湾の遺跡が発掘調査で明らかになった事例は極めて珍しいことから、平成二十四年度に

は確認調査の事業費二百万円のうち、国、県から四分の三の補助金が交付されることとなった。今後は、赤根川河口東側の江井島港サザンカ公園内の発掘調査を県と地域、専門家と協議して進めていきたい。遺跡の一部が発

見された場合は、現地見学会などで成果を公開し、地域の活性化につなげたい。



昭和61年に発見された15本の丸太材